

アイデア次第で可能性無限! リアルタイム・データ全集200

斉藤 直希

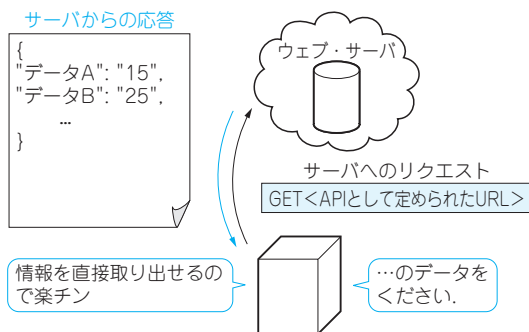
表1 ウェブ上にあるデータの種類の

分類	例
気象情報	天気, 気温, 降水確率など
防災, 保安, 安全	台風, 河川水位, 土砂災害, 地震, 震度, マグニチュード, 津波, 火山, 放射線, 犯罪, 火事など
環境, エネルギー	使用電力量, 発電量, 大気(NOx, 花粉, PM2.5), 水質, 土壌, 地球, 宇宙の様子, インターネットの利用状況(通信量, サイバー攻撃, SNSの利用状況など)
交通	交通量, 渋滞情報, 事故情報, 運行状況, 混雑度, 騒音など
施設(ホテル, 病院など)	予約状況, 空き状況, 待ち時間など
家庭・職場	室温, ガス・電気・水道使用量など
生体情報	血圧, 心拍数, 血糖値など
娯楽	スポーツ(野球, サッカーなど), 観光(市街, 公園, テーマパークなど), テレビ, ラジオなど
ショッピング	商品価格, 残在庫など
政治・経済・社会	国会・議会, ニュース, 株価, SNSなど

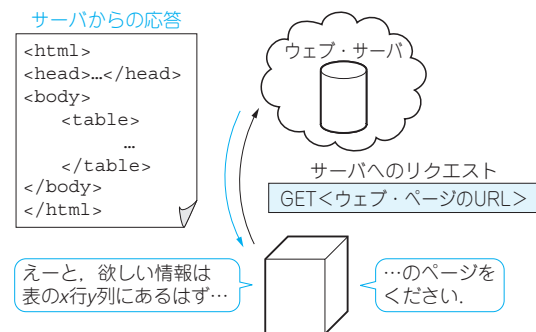
● インターネット×物理的制御! アイデア次第で可能性∞!

インターネット上には、気象情報のように、状態が時々刻々と変化するものを対象とし、その変化に応じて即時に更新されるデータ(リアルタイム・データ)が公開されています。

リアルタイム・データはスマホでも取得できます



(a) 楽チン! 自動抽出向けにWeb APIでデータを取り出せるタイプ



(b) HTML記述はデータ抽出にちょっと手間がかかる

図1 リアルタイム・データには最初から自動抽出向けに公開されている楽チンなタイプがある

が、マイコンや小型コンピュータ・ボードと組み合わせると、例えば10分後に雨が降ることを通知する装置を作ったりできます。そのままモータを駆動して窓を閉めたり、傘を鞆にセットしたりと可能性が広がります。

リアルタイム・データを分野別に整理すると表1のようになります。天気や降水量などの気象情報からスポーツなどの娯楽的な情報に至るまで、さまざまな情報が公開されています。

● リアルタイム・データのタイプ

▶ その1: 人間が見る向けHTML記述…データ抽出はちょっと手間がかかる

リアルタイム・データがウェブに公開される場合、ウェブ・ページの一部分として、またはモバイル・デバイス向けアプリケーションの中で提供されるのが一般的です。

▶ その2: 自動抽出向けWeb APIアクセス・データ…直接取り出せて楽チン!

データによっては、Web APIのようにプログラムからの利用を考慮した形で公開されています(図1)。このようなデータは人が状況を判断するためだけでなく、コンピュータによる自動処理に利用しやすいため便利です。

APIとは、Application Programming Interfaceの略